

## 担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 南相馬復興アグリ株への出融資対応

J A 名 農林中央金庫福島支店（福島県）

<p><b>1 動機</b> (経緯)</p>	<p>福島県沿岸部の農地では津波による被害や風評問題の影響から担い手の減少等が課題となっています。</p> <p>こうした課題解決に向け、南相馬市出身の東京電力元執行役員が、平成 25 年 1 月南相馬復興アグリ株を設立し地域農業復興および農業経営人材の育成のため、環境制御型溶液栽培施設による高品質トマトの通年生産を企図し、平成 27 年 2 月に施設の建設を開始しました。</p> <p>なお、この取り組みは出資・生産物の買い取り・技術指導でカゴメ株からの協力も得ています。</p>
<p><b>2 概要</b></p>	<p>農林中央金庫福島支店では、カゴメ株とも相談・連携しながら、構想段階から事業計画策定等を支援し、運転資金として復興ファンド 60 百万円、施設建設資金として復興ローン 363 百万円を出融資し、資金面からのサポートを実施しました。</p>
<p><b>3 成果</b> (効果)</p>	<p>沿岸部の新しい農業の形の構築に資金面から貢献するとともに、南相馬復興アグリ株の社長を日本農業経営大学校の講師に招き、就農を希望する学生に講演を実施しました。</p> <p>福島県の農業の復興から始まった事業が、担い手の育成等にも効果が波及しています。</p>
<p><b>4 今後の予定</b> (課題)</p>	<p>平成 27 年 11 月に施設竣工を予定しており、平成 28 年 3 月には生産されたトマトの販売を開始する予定です。</p> <p>農林中央金庫福島支店では福島県の復興に向け、金融面・非金融面での支援を継続して参ります。</p>



トマト栽培施設完成予想図



日本農業経営大学校での当社社長の講演